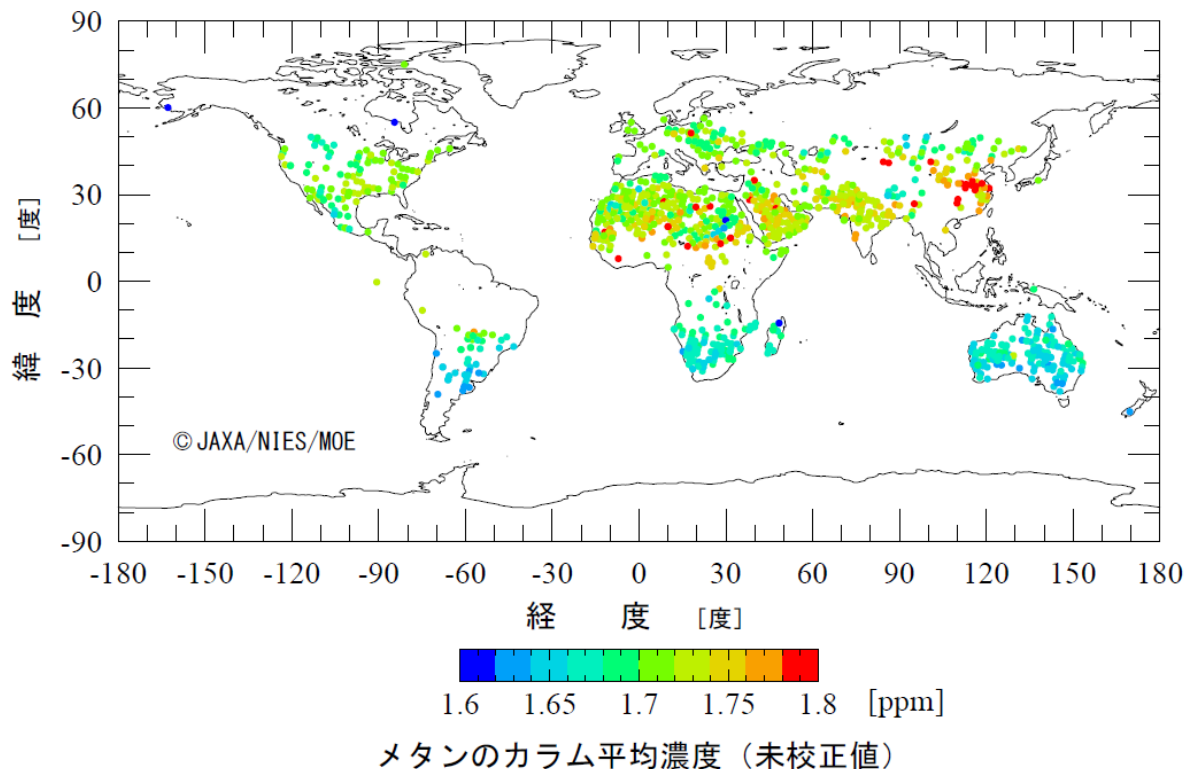


添付資料 2

メタン(カラム平均濃度)の初解析結果(4月20日~4月28日の観測データ)



添付資料1と同様の条件で解析した全球晴天域における陸上のメタンのカラム平均濃度。

初解析結果では、4月下旬の観測データとして、北半球の方が南半球よりも高濃度である傾向^(注1)が過去の他の観測データと整合していますが、全体としてやや低いカラム平均濃度^(注2)が導出されています。これは、添付資料1と同様の理由が考えられるため、解析結果の定量的な議論に必要な、データの校正作業、処理パラメータ調整作業、プロダクトの検証作業を今後進めます。

(注1)北半球では南半球よりも緯度帯平均で0.03~0.1 ppmほど高い解析結果が得られている。これは、モデル計算による南北差とほぼ一致している。

(注2)モデル計算値よりも南半球で平均的に約0.1ppm、北半球の緯度帯平均で0.04~0.13 ppmほど低い値となっている。